

# MINIMINI MINES

平成28年度ジュニアサイエンススクール

## トレジャーハント きらめく石を君の手で 参加者募集のお知らせ



昨年度のジュニアサイエンススクールの様子

鉱業博物館では、毎年小学生の夏休み期間中、ジュニアサイエンススクールと題して、自然から様々な発見をすることを狙いとした体験学習を行っています。実際に鉱物を採取して、オリジナル標本づくりをします。

毎年、すぐに定員に達してしまうほど好評をいただいているイベントです。参加費は無料です。

平成28年  
7月30日(土)  
7月31日(日)

- 開催日 平成28年7月30日(土)・31日(日)
- 対象 小学6年生  
(8時30分までに博物館に集合できる方  
2日間とも参加できる方)
- 場所 1日目 秋田県内(バス日帰り)採集地  
2日目 秋田大学附属鉱業博物館 講堂
- 講師 秋田大学教員
- 実施内容 野外での旧鉱山の見学及び、鉱物の採集と  
室内での標本作成
- 申込方法 電話による申し込み 先着20名  
電話番号 018-889-2461  
6月27日(月)~7月7日(木)  
10時30分~16時(土・日除く)

先着順ですので  
お早めにお申し込み  
ください!



## 第1回 鉱業博物館サイエンスボランティア講習会 を開催しました

平成28年6月9日(木)、今年度第1回目の鉱業博物館サイエンスボランティア(以下、SV)講習会が開催されました。この講習会は、SVの皆さんに当館をより深く知ってもらうため、毎年開催している講習会です。

講習会は、4月に鉱業博物館長に就任した今井館長の挨拶から始まりました。その後、今井館長が「金を巡る神話」と題して講習しました。

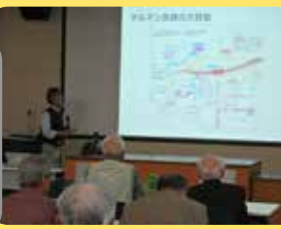
金は、道具などで使われる使用価値だけでなく、交換価値のある物として認識されました。そのため、金は世界中の国々で貨幣として使われています。また、金にまつわる神話も多く残っており、講習ではゲルマン人の神話を元にしたオペラ「ニーベルグの指輪」や日本の神話「花咲か爺さん」などを例に挙げて話しが進められました。

神話という切り口から金に着目して展開される講演内容に、SVの皆さんは興味深げに聞き入っていました。

今年度は新たに4名の方々がSVに登録し、総勢48名のボランティアが博物館の運営に協力しています。活動としては、見学者への展示案内やイベント開催時の手伝い、館内整備などを予定しています。また、毎年恒例のSV研修会も行う予定です。



今井鉱業博物館長



講習中の様子



聴講するボランティアの皆さん

平成28年度秋田大学附属図書館・鉱業博物館企画展

秋田大学鉱山絵図・絵巻デジタルギャラリー

公開記念講演会&amp;ギャラリートークが開催されました



平成28年度秋田大学附属図書館・鉱業博物館企画展「デジタル画像による鉱山再発見ー原本と高精細画像で秋田と佐渡の鉱山絵図・絵巻の美しさに触れてみるー」の公開記念講演会とギャラリートークが、平成28年5月13日（金）に行われました。

麻生節夫附属図書館長の挨拶ののち、杉山附属図書館職員から秋田大学鉱山絵図・絵巻デジタルギャラリーの特徴と操作方法の説明がありました。特に翻刻(ほんこく)表示機能(原資料にある文字の翻刻画像を重ね合わせて表示する)を実演した際には、くずし字が読めなくても活字として判読できるという便利な機能が聴講者の関心を引いていました。

その後、今井忠男鉱業博物館長が「絵図・絵巻にみる阿仁の鉱山文化」と題してギャラリートークを行いました。はじめに、阿仁に伝わる民謡「からめ節」の歌詞の



ギャラリートークの様子



麻生図書館長より挨拶がありました



今井鉱業博物館長による講演の様子

内容を、デジタルギャラリーに掲載されている絵巻「銅山働方之図」を用いて読み解きました。また、阿仁を旅した菅江真澄の記録と絵図「真木澤繪圖面」を用いて、真澄の旅行ルートをたどりました。今井館長は、「資料のデジタル化によって貴重な資料を細部に至るまで閲覧できるようになったので、いつでも資料を活用でき、内容の理解は一層深まっている。今後も多くの貴重資料のデジタル化を期待したい。インターネット環境があれば自由に閲覧できるので多くの方に利用してほしい。」と述べました。

講演会には50名を超える方が訪れ、資料の絵図や絵巻に対する関心が一層深まった様子でした。

なお企画展は6月20日をもって終了しました。たくさんのご来場ありがとうございました。

今井館長が記念講演を行いました

## 湯沢市郷土学習資料展示施設 リニューアルオープン記念

平成28年5月28日(土)、湯沢市郷土資料展示施設リニューアルオープン記念式典で、今井忠男館長が「博物館が伝える秋田の鉱山史ー明治天皇の御巡幸を例としてー」と題して記念講演を行いました。

明治天皇は、明治14(1881)年に院内銀山の五番坑を巡幸された他、加護山・阿仁鉱山と荒川鉱山を顕彰されました。これは、秋田の鉱業の発展を願ったことであった、と話しました。



講演の様子

また、博物館・資料館の役割として、本物を保管展示して、郷土の自然と文化を物(モノ)で記録することが重要であると述べました。

## 湯沢市郷土学習資料展示施設 について

湯沢市郷土資料展示施設は、湯沢の埋蔵文化財や化石、鉱山に関する資料、酒造用具などが展示されている施設で、平成28年4月1日、湯沢市高松地区センター2階にリニューアルオープンしました。

「湯沢の大地の歴史室」には、鉱業博物館が剥ぎ取り作業に協力した、「湯沢市山田地区蓮台寺大露頭の地層の剥ぎ取り標本」が展示されています。



湯沢市山田地区蓮台寺大露頭の地層の剥ぎ取り標本

お知らせ

### 平成28年度 第1回鉱業博物館開放講座

ファラデーに魅せられて(3)  
ファラデーの自己研鑽と研究流儀

日時:平成28年7月7日(木)  
15:00~16:00

講師:金児 紘征 氏(秋田大学名誉教授)  
会場:鉱業博物館 3階 講堂

### 鉱業博物館無料開放

7月30日(土)・31日(日)  
9:00~16:00

秋田大学オープンキャンパスにあわせて無料開放いたします。

### 停電のため休館します

9月3日(土)  
停電のため、終日休館させていただきます。